

2学期が始まりました

44日間の長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。この夏休みも、大変暑い日が続きました。場所によっては、集中豪雨があり、多くの雨による被害が出たところもあります。



みなさんは、長い夏休みをどのように過ごしましたか。登校日の日に話をしましたが、休み前に話した三つの約束（心と体を鍛える・頭を鍛える・事故に遭わない）は守れたでしょうか。一日も早く、普段の生活を学校モードにして2学期を頑張りましょう。今学期は一番長い学期であり、行事も盛りだくさんあります。鼓笛練習はすでに夏休み中から始まっていますが、今月末の運動会に向け他の練習もすぐに始まります。さらに、校外学習、小中音楽発表会（4年生参加）、学校公開、持久走大会などがあります。忙しくもあり、楽しみな学期です。それぞれの目標を持って精一杯頑張りましょう。

5年生が宿泊学習を実施

5年生が、7月23～24日に桐生野外活動センターで一泊二日の宿泊学習を行いました。初日は、プレーホールでコースター作りや桐生川でマスつかみを行ったり、飯ごう炊飯やカレー作り、キャンプファイヤー等を行ったりしました。2日目には、梅田湖で二人一組になりカヌーに乗りました。飯ごう炊飯やカヌー等、初めての経験が多かったので、最初は戸惑いがあったようですが、充実した時間を過ごすことができたのではないかと思います。



☆新任の先生紹介

2年2組担任の唐澤先生の体育代替として、すでに7月7日より週3時間野澤康子（のざわやすこ）先生が赴任しています。また、たけのこ学級担任の桑原先生が9月2日から11月7日まで約2か月間の研修に行くため、その期間本校に一昨年前の3月まで勤務していた室田史恵（むろだふみえ）先生に赴任してもらうことになりました。よろしくお願いいたします。

9月の主な予定

9月	1日(月)	第2学期始業式	16日(火)	ふれあい清掃
	2日(火)	身体測定(1.3.5年)	23日(火)	秋分の日(祝日)
	3日(水)	身体測定(2.4.6年)	24日(水)	運動会予行練習
	5日(金)	委員会活動	26日(金)	運動会準備(5.6年)
	6日(土)	全校除草作業(2.5年)	27日(土)	運動会 ※荒天のため延期の場合は翌28日(日)実施
	8日(月)	一斉下校	29日(月)	振替休業日
	12日(金)	クラブ活動		
	15日(月)	敬老の日(祝日)		

保護者の皆様へのお願い

元気な子どもたちが久しぶりに学校に戻ってきて、今日から2学期が始まりました。夏休みは前述したように終業式で約束したことや自分で決めた目標をおおむね行うことができたようです。

さて、保護者の皆様は、人間性に関して次の三つのうち、どれに近い考えをお持ちでしょうか。

- ① 人間は善を行うべく道徳的本性を持って生まれてくる。だから、良い心が悪くならないように良い行いをほめてどんどんするようにし、悪いことはしないようにきちんとしつけるべきだ。
(性善説：孟子)
- ② 人間は利己的欲望を持って生まれてくる。だから悪い行いをやめさせるために、良い行いを示して、悪い心がだんだんと良い心になるように教えなければならない。
(性善説：荀子)
- ③ 人間は白い紙のように善悪の区別のない状態で生まれてくる。生活や社会体制などの後天的な理由で悪になったりする。だから良いことと悪いことの区別がつくように教え、良いことは進んでするようにし、悪いことはやらないように教え諭していかなければならない。
(白紙説：ロック)

これらに共通なことは、「良いことと悪いこととをきちんと教えること、良いことをしたらほめ、悪いことをしたらそれは悪いことと教え、しないようにする」ことです。そのためには、大人が事実をしっかりと見つめ、冷静に判断し、自信を持って毅然と「自分のすべきことを怠けること」や「友だちの邪魔をすること」「嫌なことや迷惑になること」は「やめる」ことをきちんと教え込む必要があります。その子の将来にとって、また子どもの集団や社会にとって好ましくないことは、学校でも繰り返し指導していきたいと思います。ご家庭においても、お子さまの生活にそくして話し合い、躡けていただくようご協力をお願いいたします。

雑感

この夏、医療分野で画期的なプロジェクトがテレビや新聞等で報道されました。

現在、ガンの診断法にはCTやMRI、細胞診などのガン組織を直接的・間接的に調べる方法が一般的に行われています。さらに、数年前からは全身のガン組織を検査できるPET検査なども行われるようになりました。しかし、これまでの検査は多くの時間や経費がかかり、患者の負担になっていることは周知のとおりです。今回発表されたプロジェクトは、たった1滴の血液に含まれるマイクロRNA（ガン組織が血液などの体液に出すエクソソームという小胞に含まれるRNA）を計測して、13種類のガンを簡単に早期診断できる画期的な次世代診断システムを産官学の共同で開発するというものです。人のために協働し、新たな事にチャレンジする姿勢は本当にすばらしく、レベルの差こそあれ参考とすべきことがたくさんあります。また、そこで携わる研究者は、おそらく小さい頃から夢や目標を持ちながら努力した人たちであり、大人のみならず子どもたちにも生きる上で学ぶべき面がたくさんあると思います。

本県の群馬大学もこのプロジェクトに参加しており、地元の人間としてとても誇らしい気持ちです。私の両親ともガンで亡くしていますので、是非ともこの研究が早期に成功することを願ってやみません。

